

井筒監督大人に語る！ 高石九条の会講演会

4月13日、高石中央公民館の会場いっぱい参加者の中、憲法第9条について語る講演会がありました。講演は主催者の方からのインタビュー形式で行われました。講演内容のすべてを再現することはできませんが、主なものを書くと…。

Q1・あの講演会で、何を学ばれたらいますか？

↓映画「パッチギ！」の試写会を東京大学で行いました。9条の会の小森陽一教授がお話をしてくださったことと、9条についての考えが一致したのがきっかけでした。

Q2・「永遠の0」について、若者によく見られているようだが、事実にもとづいていない作品です。出征する時や特攻に出かける時に「天皇陛下万歳！」と叫んだとされていますが、私の母は、出征に当たり「はよかえっておいで。」と言っていました。若い役者をつかって人気をとっても、

基本的なことを調べることなく作品をつくるのは、監督としてやってきた私にはがまんなりません。

Q3・右側の人たちが、「南京大虐殺はなかった。」など言っていますか？

↓南京へ派遣された兵士は、京都・奈良・三重などの近畿の人たちです。彼らが戦争からもどってきたのち、小学校の先生方が聞き取りをして、本になっています。多少真実でない部分もあるようですが、自分たちが南京で行った行為について証言しています。「なかった。」と言う人がこの本を読めば、一夜で言うことが変わるでしょう。



Q4・解釈で憲法論争を、かえようとする聖がいますか？

↓安倍内閣は憲法96条で改正手続をかえようとしたが、改憲の立場の人からも批判されて、動きが止まりました。

今回は9条を内閣の解釈だけでかえようと私的な委員会をつくり、結論を出そうとしています。「限定」的に言いつつ推し進めようとしているが、世論は解釈改憲に反対です。（朝日新聞 集団的自衛権63%否定的）国民の声を集中させ安倍の考えをつぶしましょう。

Q5・改正憲法、大げな年表を引きたいのですが？

↓私は、高卒すぐの子に投票をさせるのはダメだと思えます。彼らには生活実態がないし、賛成か反対か迫られるイメージだけで投票してしまいう可能性ががあります。マスコミで煽られたら「改正賛成」に動いてしまいます。むしろ仕事に就いているだろう年齢

の22才ぐらいの方がよいでしょう。

Q6・改憲の作品について何かお考えですか？

↓憲法は、戦争の反省からできた。戦後の1945、46年は、天皇をどう扱うのか、軍隊はどうするのか、保守の側も革新の側も議論が出てまじめに議論されたい状況にありました。マッカーサーの意向もありましたが、当時の保守の吉田茂首相が結論を出そうと言うことで、日本国憲法が誕生

講演会を聞いて、1945、46年頃のことを
気になり、年表を開いてみた。
以下はそのポイントです。

『日本史年表』（歴史学研究会編より）

1945. 8. 15	天皇『終戦』詔勅放送
9. 2	降伏文書調印
10. 11	マッカーサー 憲法改正を示唆

1946. 1. 1	天皇人間宣言
2. 13	総司令部 憲法改正の 総司令部案を交付
3. 6	憲法改正草案要綱発表
5. 3	極東国際軍事裁判開廷
6. 17	キーナン検事 「天皇は裁かない」 と言明
11. 3	日本国憲法公布

しました。
今、1945、46年の動きを勉強しています。作品につながるかなと思っています。

高石子どもまつり

日時 5月18日（日）10時～12時頃

場所 加茂小学校運動場・体育館

泉北教組では、今年も「スライム作り」をします。
参加、ご協力よろしくお願いします。